



白根甚句

水野昌男さん(能登二目会社員四十二歳)

子どものころ、祭りの太鼓や笛の音が遠くで鳴っているのを...



多くの人に福祉の手を

寝たきり老人の看護に思う

伊藤ヨセさん(浦製・農業・四十八歳)

健康で風邪一つ引いたことのない人が、一晩にしてまひ状態になりました...

先月、市からベッドを借りることができました。車椅子や風呂などの貸し出しもあると聞いています...

市民談話室

原稿募集

記録的な暖冬の後にやってくる春は、なかなか有難みがない日ごろに折々折々に投稿してください...



地元の繁栄を見守る

新飯田橋の今昔

中川豊一さん(新町甲・農業・八十一歳)

明治の初め、新潟県令楠本正隆は、地方の開発に民活方式を取り入れ、民間資金を活用した公共事業を奨励した...

私は、渡し場小路に生まれたので、幼いころ木橋で遊んだことを覚えている...

これと同時に新潟電鉄には駅の設置を、県当局には新しい新飯田橋の架橋を働きかけた...

市民文芸

短歌

雪代の集う流れは淵高く 映る雲影陽影歪めて 中村 京

俳句

無帽地蔵夜明けて見れば笠の雪 山桜真綿のごとき春霞 玉木 長吉

はなはなキヤッポル

ライバルに心のひだを読みとられライバルの視線鋭く背に刺さる...

新

春から長女が保育園に入園することになりました。一月中に申し込みをし、二月半ばに面接を受けました...

平常心でみごと

七段

黒部里海さん

合格率わずか一五%という難関、剣道の七段昇段試験に挑み、みごとに合格したのは...

黒部さんが七段昇段試験に挑戦するのは今回が五度目。「試験という雰囲気の中で、あがるのは何歳になっても同じです」...

「平常心で臨み、平常心で攻めることができました。面がきれいに決まり、相手は慌てて下がるようすが手に取るように分かりましたからね」...



合格率わずか一五%という難関、剣道の七段昇段試験に挑み、みごとに合格したのは...

黒部さんが七段昇段試験に挑戦するのは今回が五度目。「試験という雰囲気の中で、あがるのは何歳になっても同じです」...

「平常心で臨み、平常心で攻めることができました。面がきれいに決まり、相手は慌てて下がるようすが手に取るように分かりましたからね」...